

## 音楽ソフトを使おう！

### <ねらい>

マルチメディアの基礎として、音楽の入力・加工について理解する。  
音楽ソフトの利用を通じ、アナログとデジタルの違いを理解する。

<使用するソフト> テキスト音楽「Sakura」（フリーウェア：無料で手に入ります）

### <課題 1>

1. 聖歌集 40 番「アレルヤ」をストン表記で作成する。（主旋律だけでよい）  
ファイル名 「A40 アレルヤ.mml」（A40 の部分は組・番号を記入）

### <課題 2>

1. 自分の好きな曲を 1 つ選び、ストン表記で作成する。（アレンジ可）  
ファイル名「A40○○○.mml」（A40 の部分は組・番号を記入）

### <基本操作>

1. デスクトップの「Sakura」をダブルクリックし、ソフトを開く。
2. 「雛形」タブを開き「1. トラック設定」をダブルクリック。  
→自動的に下の設定が入力されます
3. 鍵盤の絵をクリックし、鍵盤上から音階・音符記号を入力します。

```
//_トラックの宣言
トラック 1;
音色(GrandPiano); //画面左側「音色」タブで一覧から選べます。
時間(1:1:0); // (小節:拍:ティック)でトラック開始指定時間を設定
音量(120) //0~127 まで。( )の中をダブルクリックすると簡単に変更が出来ます。
音階 5 //0~11 まで
音符 4 //基本となる音長（音符 4=四分音符、音符 1 で=全音符を表す）
ゲート 80 //音長に対する実発音時間の割合(スタッカート=50、テヌート=100)
ファ#ファ#8 ソ 8 ラファ#8 ミ 8 レ 8 シ 8 レ 8 ミ 8 ファ#2
<EOF>
```

ここで音色を変えます

基本となる音符 例では4分音符

ここに音階を入力！  
楽譜 1 段ごとに改行！  
休符はツと入力します

音階の後ろに#や音符の数字（半角！）をつけます  
※基本の音符（=この場合4分音符）は省略していいよ！  
※どの音に#やbがつくかは音楽に詳しい人に楽譜をみてもらってね！

4. トラックを追加する場合は、「雛形」タブを開き「1. トラック設定」をダブルクリック。→トラックを「2」に書き換えます。
5. リズムトラックの追加は、「雛形」タブを開き「2. リズムトラック設定」をダブルクリックし、例に倣って入力していきます。
6. 詳しい使用法は、「ヘルプ」→「マニュアル目次を表示」に解説があります。

### 聖歌「アレルヤ」楽譜（課題1）

### 下書シート（課題2）

曲名		歌手	
作詞		作曲	
選曲の理由			

高校1年 組 番 (氏名)

## 音楽ソフトを使おう！（発表評価）

### < 手 順 >

- 自分の音楽の工夫した点、聞き所などアピールを下の準備シートに記入する。

ア ピ ー ル	
------------------	--

### < 評価の手順 >

- 手順 1. デスクトップ「生徒用 Server」→「相互評価」→「クラス名」  
で、自分の出席番号のファイルを開く。
- 下の発表の観点に沿って評価を行い、SABC（大文字半角）、  
点数の計算（半角）を行う。コメントも時間の許す限り記入する。
  - すべての発表が終わったら、上書き保存して終了する。

### < 評価基準 >

	評価項目	A	B	C
デザイン (構成)	①聞いた印象	よく	だいたい	もう一工夫
	②アレンジ・楽器選択	できている	できている	
内 容	①ボリューム（内容量）	よく	だいたい	もう一工夫
	②工夫	できている	できている	

※ 標準がB、いいものがAで、Aの中でとくにすばらしいものにS

## 自 己 評 価 シ ー ト

	A	B	C	自己評価
時間配分	時間を有効に使い、工夫を重ねた作品を作れた	決められた時間内で作品を完成させた	時間を無駄に使うことも多かった。	
制作態度	積極的に工夫し作品を完成させた	指示通りの作品を作ることができた。	なかなか手が動かず、作品制作に手間取った。	
コメント (苦勞した点・反省・次へ向けた工夫など)				

☆考察☆ 他の人の作品を聞いて、よかった人・高い点数をつけたページは、どのような工夫・方法をしていたか考えて書いてください。

\_\_\_\_\_  
高校1年 組 番 (名前)